

〈情報管理〉

健康課題解決に向けた保健情報管理の工夫

—保健室情報管理ツールの作成—

沖縄市立宮里小学校 養護教諭 玉 城 尚 子

I テーマ設定理由

児童生徒の健康課題を解決するため、教育現場では組織的に継続性のある支援が不可欠となっている。文部科学省の「教育の情報化ビジョン」（平成23年4月）第五章「校務の情報化の在り方」においては、「情報の共有によるきめ細かな指導を可能にし、校務の負担軽減による子どもたちと向き合う時間や、授業を吟味する時間を増加させ、ひいては、教育の質の向上と学校経営の改善に資するものである。」と校務の共有化・情報化を意義づけている。

本校は県内2番目に在籍数が多い養護教諭2人配置校である。しかし現状として日々の業務の中に児童の健康状態や欠席や遅刻の情報、保健室来室や健康相談に関する情報、健康診断と事後措置に関する情報、基礎疾患やアレルギー等に関する情報、環境衛生に関する情報など、取り扱う情報量は膨大且つ多岐にわたり、その情報整理に時間を費やしている。本市小中学校養護教諭に行なった執務に関するアンケートの結果において、9割の学校で「保健室支援ソフト」（以後「保健室ソフト」とする）による情報が管理されている。その多種多様な情報の処理に「適した項目がない」「入力項目が多く時間がかかる」「使いにくい」「個別の情報管理が難しい」など、管理方法に苦慮している現状である。学校現場に適した情報管理ソフトは短時間で保健室情報を一元化することが要求されており、それを活用し、共有することで校務改善が図られる。そこで児童生徒の健康課題の早期発見・解決へとつながる。さらに蓄積されたこれらの情報は組織的に継続性のある支援を可能にする。以上のことから本市が次年度より導入を計画している校務支援システムとの効果的な連携を念頭に保健室情報管理ツールの構築を作成することにした。

II 研究の構成

1 研究のねらい

- (1) 健康課題把握のため保健室情報管理のあり方について基本的な考え方を明らかにする。
- (2) 市内養護教諭並びに本校教員を対象とした実態調査等を基に保健情報管理の課題を明らかにする。
- (3) 校務支援システムとの連携を念頭に保健室に適した情報項目を明確にし、必要な保健室情報管理ツールを作成する。

2 研究構想図（図2参照）

III 研究の実際

1 理論研究

- (1) 保健室情報管理で扱う個人情報の種類と管理のあり方

学校保健は、「保健教育」「保健管理」「組織的活動」の分野に別れ、保健管理は対人管理・対物管理がある。保健情報として扱う個人情報は保健管理の対人管理に分類され、具体的に保健調査票、健康診断一覧表、児童名簿、住所録、心臓病管理台帳（生活管理指導票）、腎臓病管理台帳（生活管理指導票）、保健室来室記録、日本スポーツ振興センター災害報告書のほか、本市特有の準要保護医療券発行記録簿、成長曲線記録、結核問診票、背骨に関する問診票などがある。これらは児童生徒の心身

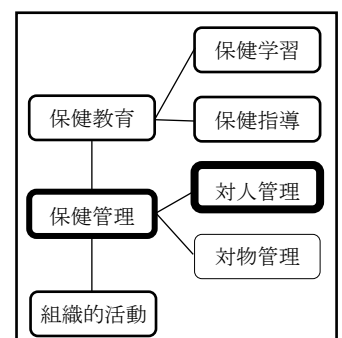


図1 学校保健の分野

の管理や生活の管理に関する内容を主とし、各種の法令等(学校保健安全法・結核予防法等)に基づき実施しているのも含まれ、情報は一元化されておらず情報管理の方法は学校によって異なる。『学校運営における情報管理の実務』において、情報は整理・処理してはじめて活用できるとされている。近年、保健室情報はパソコンを用いる場合が多いが、そのメリットとして以下の3点をあげている。

- ① 保健情報の把握が容易になる。
- ② 問題点の発見、分析を多面的に行なうことができる。
- ③ 保健指導資料にそのまま利用でき、蓄積データの追跡調査が容易になる。

また、『教職員のための子どもの健康相談及び保健指導の手引き』(文部科学省平成23年8月)では改正された学校保健安全法において「健康観察、教職員等による健康相談・保健指導、医療機関等との連携」の充実を強く打ち出し、発達段階ごとに予測される心身の問題について組織的な対応を解説している。

このような状況を踏まえ保健室に求められる情報管理のあり方として以下のように考える。

- ① タイムリーに多岐に渡る情報の記録化(整理・処理)を図る。
- ② 情報の分析と健康課題の早期発見に努める。
- ③ 機微な情報も多いため、慎重な取り扱いとプライバシー保持に留意する。
- ④ 管理と指導を一体的に考え、情報の共有・継続と組織的な課題解決支援を図る。

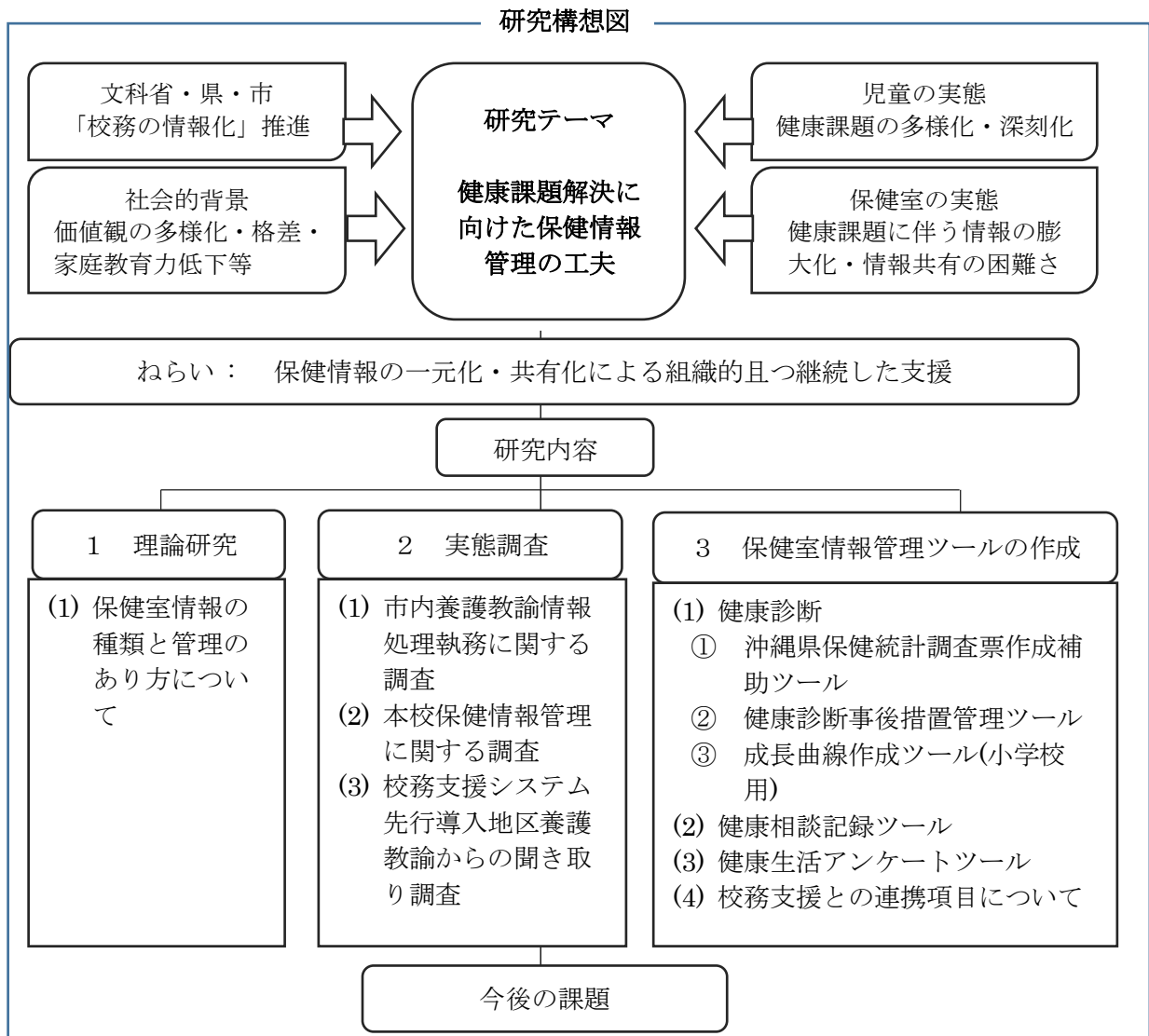


図2 研究構想図

2 実態調査

(1) 市内養護教諭情報処理執務の現状

- ① 一日1時間以上情報処理に要する養護教諭の割合は90%である。(図3)
- ② 保健室情報の主な内容は「定期健康診断」「保健室利用状況」「出席状況」「健康相談」である。(図4)
- ③ 毎日欠かさず保健室の情報を記録している割合は、小学校養護教諭64%、中学校養護教諭100%であるが、記録した情報を整理しているのは、小学校養護教諭21%、中学校養護教諭80%である。(図5-1、5-2)
- ④ 保健室の情報が個別・集団保健指導に活用されている割合は、小学校養護教諭57%、中学校養護教諭60%である。(図6)
- ⑤ 沖縄県保健統計調査に時間を費やしている割合は、小学校養護教諭79%、中学校養護教諭80%である(図7)。
- ⑥ 保健室情報を共有している職種は、「管理職」「担任」「生徒指導担当」「教育相談担当」「教務主任」である(図8)。
- ⑦ 時間を要する項目は、「保健指導用教材作り」「健康相談」である(図9)。

(有効回答 19校/24校中
:実施日平成25年6月)

以上の結果から、本市における保健情報管理の課題として以下の内容が考えられる。

- ・保健情報処理に時間を費やしている。
- ・情報の整理と効果的な活用に苦慮している。
- ・現場の状況に適した内容項目で情報処理できるソフトがない。

(2) 本校の保健情報管理と課題

本校では、出席状況以外の保健室情報をExcelで工夫し実態把握と職員間情報共有化を行なっている。情報の有効管理について、本校職員を対象にアンケートを実施した。

- ① 年度初め健康課題のある児童の情報提供は、91%が役に立っていると感じている。
- ② 70%が「児童の健康状態を共有できる環境と活用」を望んでいる。
- ③ 出席・保健室来室状況は、児童の心身の健康状態を把握する手立てとし82%が役立っていると感じている。

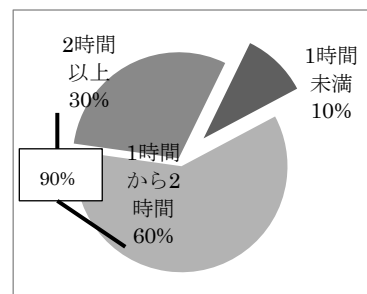


図3 情報処理に費やす時間

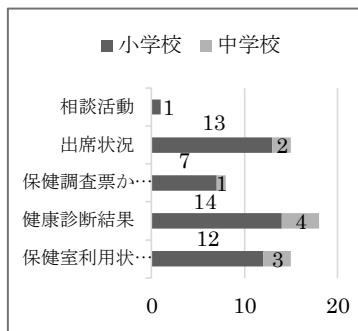


図4 保健情報の内容

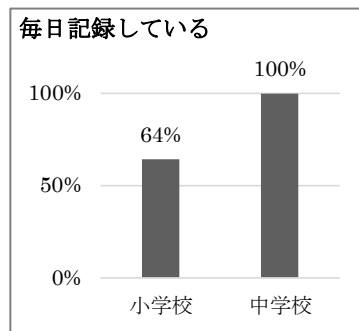


図5-1 情報の記録

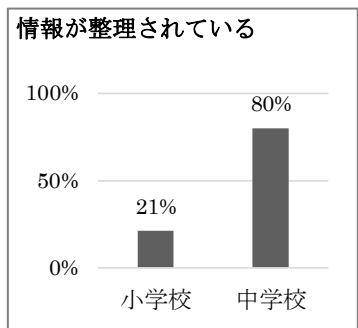


図5-2 情報の整理

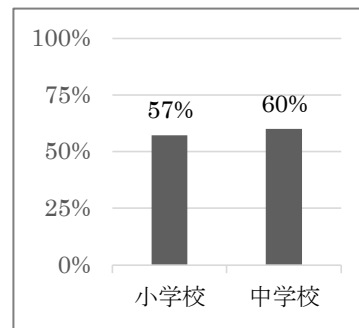


図6 個別集団保健指導活用

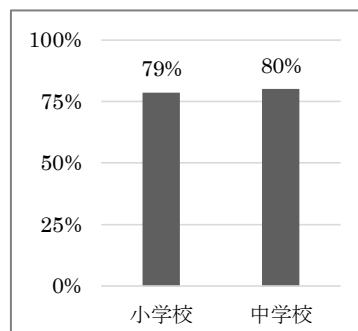


図7 統計作成に時間を要する



図8 保健室情報の共有

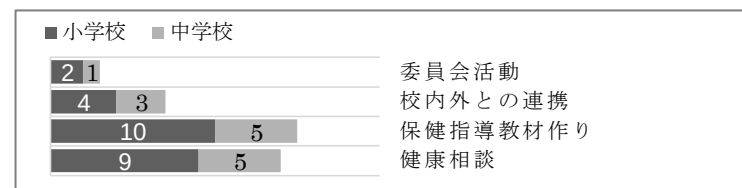


図9 時間を要する項目

④ 学年会に保健室情報の提供を位置づけることにに対し「あまり望ましくない」「まったく望ましくない」を合わせ 18%で、その理由が「学年会の議題内容が多い」「時間的な問題がある」である(図 10)。

⑤ 児童の健康診断結果を公簿健康診断票の記入欄に合わせた項目に並び換え、学級担任に配布した。その結果 88%の担任が業務の軽減に役立っていると答えている。

⑥ 健康診断事後措置(個別指導)について担任がしっかり行なっていると答えた割合は 18%で、治療勧告のみを実施している割合は 64%であった。

⑦ 79%が健康診断結果個票は児童の健康状態がわかりやすいと捉えている。

⑧ 児童が健康課題を意識し解決に向けた行動変容を促す目的で、年 2 回アンケート(ヘルシーチェック)を実施している。しかし行動変容につながっていると感じている割合は 20%で、高学年が高い傾向にある。

⑨ 保健指導資料の活用がしたいと答えた職員は、88%である。

(有効回答 32 人/44 人中:実施日平成 25 年 11 月)

以上のことから、本校の課題も「情報の共有化」「職員が実践しやすい保健指導教材の工夫」などであることが明確化した。この結果を活用し情報提示の工夫をツール作成に活かしていきたい。

(3) 校務支援システム先行導入地区保健室からの聞き取り情報

校務支援システムを先行導入している G 市の現状と課題について聞き取り調査を行い以下の課題が明らかになった(表 1)。

表 1 G 市の校務支援システム導入後の課題

校務支援システムと保健室との連携	● 名簿は保健室ソフトとリンクしている。 ● それ以外の項目は保健室ソフトとのリンクをしていない。 ● 出席状況入力、各教室の担任が入力し保健室パソコンから状況を確認できるが保健室からは入力できない。 ● 保健室ソフトの内容も担任からは見ることができない。
成果	● 担任による出席簿入力、保健室入力作業が軽減され、データの確実性が高まった。
課題	● 出席状況は保健室で必要な学級別集計や欠席の種類別集計が出ない。そのため、保健室で必要なデータを校務支援システムからいったん書き出した後、Excel 処理し統計を取っている。操作が面倒である。

3 保健室情報管理ツールの構成と工夫

(1) 構成

保健室情報管理ツールの主な構成は、健康診断・健康相談・健康生活アンケートとする。保健室情報の中でも保健室ソフトが現状に即しておらず時間を要する項目となっているため、「沖縄県保健統計調査」「健康診断事後措置管理」「成長曲線」「健康相談記録」などを保健室ソフト補助ツールとして作成する。「健康生活アンケート」については市内養護教諭の約 9 割の要望があったためツールの中に組み入れることにした。

(2) 工夫

本市において、定期健康診断に必要な児童生徒の健康情報は以下の内容である。

体位三測・保健調査票(現病歴・既往歴・アレルギー・保護者からの要望等)・問診表(心臓病・結核・背骨に関する)・成長曲線・委託業者の検査結果(尿・ぎょう虫・視力・聴力・心電図)・聴力検査結果・歯科健診結果・内科健診結果等。これら情報は保健室ソフトに入力されている項目や委託業者検診結果としてすでにデータ化されているものがある。Excel を基盤として作成し、広く活用できるようにした。

なお、作成途中で Access の導入も進められたため、健康相談記録を Access で作成した。

4 ツールの作成

(1) 健康診断に関するツール

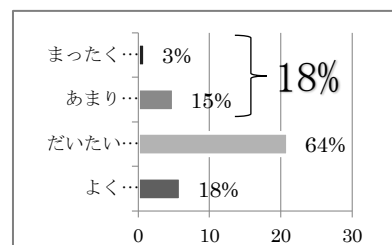


図 10 学年会での情報提供

① 沖縄県保健統計調査補助ツール(Excel 版)

本県の学校保健調査票は以下の三種類である。(図 11)

本ツールは、この調査票を作成するツールである。手順としては、保健室ソフトに入力されている体位三測データや検査機関からの検査結果データなどを活用する。

平成 年度 学校保健統計調査 発育状態調査票															調査票 1						
小学校										教育委員会名					教育委員会						
学校名										TEL					校長氏名						
学校所在地										FAX					教務主任氏名						
教育事務所	教育委員会番号	学校調査番号	調査票	学校種別	検査項目										「検査項目」番号は1から3までである。 1は身長・2は体重・3は座高を表す。						
うー	211/A	エー	1	1	1																
性別	男										性別	女									
年齢(歳)	6	7	8	9	10	11	年齢(歳)	6	7	8	9	10	11	年齢(歳)	6	7	8	9	10	11	
区分	(小1)	(小2)	(小3)	(小4)	(小5)	(小6)	区分	(小1)	(小2)	(小3)	(小4)	(小5)	(小6)	区分	(小1)	(小2)	(小3)	(小4)	(小5)	(小6)	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	
2	0	2	0	2	0	2	2	0	2	0	2	0	2	2	0	2	0	2	0	2	
3	0	3	0	3	0	3	3	0	3	0	3	0	3	3	0	3	0	3	0	3	
4	0	4	0	4	0	4	4	0	4	0	4	0	4	4	0	4	0	4	0	4	
5	0	5	0	5	0	5	5	0	5	0	5	0	5	5	0	5	0	5	0	5	
6	0	6	0	6	0	6	6	0	6	0	6	0	6	6	0	6	0	6	0	6	
7	0	7	0	7	0	7	7	0	7	0	7	0	7	7	0	7	0	7	0	7	

平成25年度 学校保健統計調査 健康状態調査票															調査票 2					
小学校										健康状態調査票					沖縄市 教育委員会					
学校名 宮里小学校										TEL 937-6745					校長氏名					
学校所在地 沖縄市宮里3丁目27番地1号										FAX 938-9807					教務主任氏名					
教育事務所	教育委員会番号	学校調査番号	調査票	学校種別	性別										教育委員会 1 宮里 4 島尻 ② 中城 5 宮古 八重山					
2			2	1	1										「性別」1は男子。2は女子					
年齢(歳)	6	7	8	9	10	11	年齢(歳)	6	7	8	9	10	11	年齢(歳)	6	7	8	9	10	11
区分	(小1)	(小2)	(小3)	(小4)	(小5)	(小6)	区分	(小1)	(小2)	(小3)	(小4)	(小5)	(小6)	区分	(小1)	(小2)	(小3)	(小4)	(小5)	(小6)
受検者数	91	101	93	71	106	81	受検者数							受検者数						
1. 0歳未満	22	17	9	8	12	4	1. 0歳未満							1. 0歳未満						
2. 0歳以上	3	8	15	6	13	10	2. 0歳以上							2. 0歳以上						

平成 年度ローレル指数で見た肥満度調査票															調査票 3					
小学校										教育委員会名					教育委員会					
学校名										沖縄市					教育委員会					
教育事務所	教育委員会番号	学校調査番号	学校種別																	
2	2211	142	1																	
中頭教育事務所	沖縄市	宮里小学校																		
性別	男										女									
年齢(歳)	6	7	8	9	10	11	年齢(歳)	6	7	8	9	10	11	年齢(歳)	6	7	8	9	10	11
指数	(小1)	(小2)	(小3)	(小4)	(小5)	(小6)	指数	(小1)	(小2)	(小3)	(小4)	(小5)	(小6)	指数	(小1)	(小2)	(小3)	(小4)	(小5)	(小6)
160以上	5	4	5	3	11	7	160以上	2	3	4	7	9	4	160以上	2	3	4	7	9	4
99以下	1	0	2	0	0	1	99以下	0	0	0	2	4	5	99以下	0	0	0	2	4	5
検査人員数	92	101	94	71	107	81	検査人員数	89	96	95	97	83	89	検査人員数	89	96	95	97	83	89

図 11 沖縄県保健統計調査票

図 12 沖縄県保健統計調査補助ツール(Excel 版)の Sheets 名

調査票 3「ローレル指数でみた肥満度調査票」は、調査票 1 作成時点で自動的にデータが作成されているため入力データを確認後「入力確認後このボタン押す」の指示に従い数値のみが提出用 Sheets に保存され完成される。

図 13 保健室ソフト書き出し CSV データ

図 14 体位データ

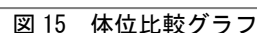


図 16 県統発育身長

② 健康診断事後措置管理ツール(Excel版)

本ツールは、個人健康情報を一覧にするものである。

手順としては、保健調査票の内容や保健室ソフトに入力されている体位三測データ、検査機関からの検査結果データ、内科健診結果などを活用する。

情報を一元化することにより以下の内容が簡単な操作で表示できるようにした。

- ・アレルギー既往歴者リスト一覧(図 17)とグラフ(図 18)。
- ・視力低下者一覧(図 19) 及び治療状況グラフ(図 20)。
- ・尿、心電図、聴力等各検査項目で異常のある児童生徒の一覧と治療状況一覧。
- ・内科健診結果一覧と集計(表 1)。

入力方法も簡単にした。内科健診結果や保健調査票の内容にある既往歴、よくある症状などは数字を打ち込む操作にした。例えば図 21 の内科健診結果を例に挙げると、○の部分に数字を入力すると、自動で図 22 の疾患リストの項目が入力される。既往歴なども同様数字の入力となる。数値と用語は Sheets「用語」にあり変更可能な部分を多く設けた。

内科健診結果表(表 1)は、「沖縄県保健統計調査」の調査票 2 中にある眼の検査・耳鼻咽喉頭の検査・内科的疾患等の検査の項目にリンクできるように作成してある。

表 1 内科健診結果

内科健診受検者数(対象者一欠席者)												
	1年男子	2年男子	3年男子	4年男子	5年男子	6年男子	1年女子	2年女子	3年女子	4年女子	5年女子	6年女子
受検者数	91	100	93	71	106	81	87	96	96	97	83	90
対象者	92	101	93	71	106	81	87	96	96	97	83	90

内科健診治療動向項目	人数	1年男子	2年男子	3年男子	4年男子	5年男子	6年男子	1年女子	2年女子	3年女子	4年女子	5年女子	6年女子
栄養不良	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肥満傾向	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脊柱・胸郭異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アトピー性皮膚炎	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の皮膚疾患	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心臓疾患異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ぜん息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎臓疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
言語障害	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の疾病・異常	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼の疾病及び異常	3	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
耳疾患	5	1	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0
鼻・副鼻腔疾患	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
口腔咽喉頭疾患・異常	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
結核疑い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
低身長疑い	3	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

アレルギー管理一覧												
食物・薬品・その他アレルギーのある者を表示						食物アレルギー 薬品の		薬品アレルギー 薬品の		他のアレルギー 薬品の		アレルギー
人	年	年	年	年	年	食物	アレルギー	薬品	アレルギー	その他	アレルギー	アレルギー
1	11101	1	1	1	1	2	あり	2	あり	5	結膜炎	
2	11102	1	1	2	1	2	あり					
3	11103	1	1	3	1	2	あり					
4	11104	1	1	4	1	2	あり					
6	11106	1	1	6	1	1	なし			4	アトピー	

図 17 アレルギー管理一覧

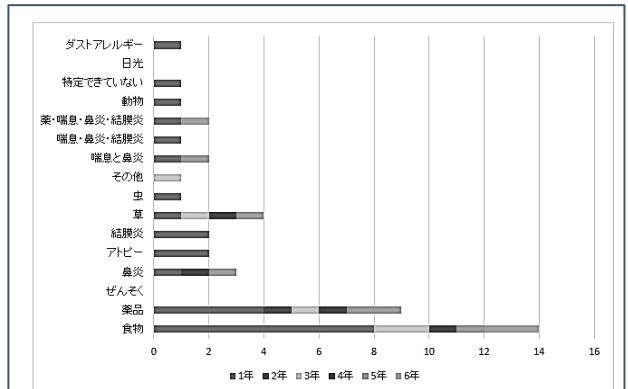


図 18 アレルギー管理一覧グラフ

視力検査												
視力低下者												
ID	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
1	11102	1	1	2	1	1	0.9					
2	11104	1	1	4	1	1	0.7	0.9				
3	11105	1	1	5	1	1	1.2	0.8				
4	11106	1	1	6	1	1	0.8	0.8				
5	11107	1	1	7	1	1	0.9	0.6				
6	11201	1	1	35	2	1	0.7	0.5				
7	11202	1	1	37	2	1	0.9	0.2				
8	11203	1	1	42	2	1	0.3	0.3				
9	11245	1	1	45	2	1	0.8	0.2				
10	12107	1	2	7	1	1	1.2	0.9				
11	12112	1	2	12	1	1	1	0.9				

図 19 視力低下者一覧

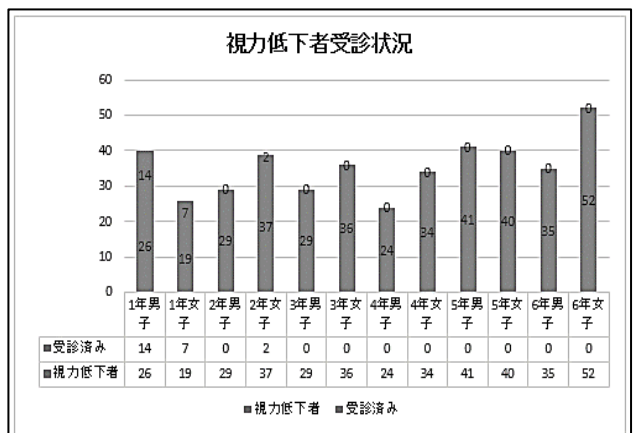


図 20 視力低下者グラフ

内科健診結果		
内科健診結果①	内科健診結果②	検査者のコメント
1 異常なし		
2 栄養不良		
3 肥満傾向		
4 脊柱・胸郭異常		
5 アトピー性皮膚炎		
6 その他の皮膚疾患		
7 心臓疾患異常		

図 21 内科健診結果

内科健診結果	
1	異常なし
2	栄養不良
3	肥満傾向
4	脊柱・胸郭異常
5	アトピー性皮膚炎
6	その他の皮膚疾患
7	心臓疾患異常

図 22 疾患名リスト

公簿である「健康診断票」(図 23)の記入について配布資料を、「健康診断票」項目の並びに一致させた学級別一覧を作成した(図 24)。操作も簡素化しマクロボタン 1~3 の順に押すだけにした。

また、Word で作成した「定期健康診断結果のお知らせ」に本ツールの「健診結果の記録」のデータを差し込みするツールを作成した。

検査委託業者や保健室ソフトの健康診断結果通知とこのツールとの異なる点として、治療の必要な項目欄と健康診断期間中に治療が完了した場合の把握ができるよう、すでに治療済みの欄を設けた。(図 25)

児童生徒健康診									
氏 名					性 別				
学 校 の 名 称									
年 齢	歳	歳	歳	歳					
年 度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成
身 長 (cm)	.	.	.	.					
体 重 (kg)	.	.	.	.					

図 23 健康診断票

健康診断票への 写しが短時間で できるとしま す。							
PLAY! 1		PLAY! 2		PLAY! 3			
学年	1	1	1	1	1	1	1
組	1	1	1	1	1	1	1
番号	1	2	3	4	5	6	
氏名							
身長	115.7	110.7	115	110	114.7	117.6	
体重	20.7	17.8	21.3	19.5	24	24.1	

図 24 学級別健診一覧表作成 Sheet

定期健康診断結果のお知らせ			
通知日 平成 年 月 日			
保護者 殿			
今年度の定期健康診断結果をお知らせいたします。治療が必要な場合は速やかに専門医受診ください。			
学校 校長			
年 組 番 氏名			
検査内容	結 果		
 身長測定	身長 cm		
	体重 kg		
	座高 cm		
 内科			
 歯科	むし 歯→ 本 (乳歯・永久歯() 本) , かみ合わせ→ , 顎 関 節→ , 歯 垢→ , 歯 肉→		
 視力	右裸眼		
	右矯正		
	左裸眼		
	左矯正		
 尿	一回目	二回目	ぎょう虫検査 結果 (1年生から3年生のみ)
	尿蛋白	尿蛋白	
	尿潜血	尿潜血	
 聴力 【1・2・3・5年のみ】	右 1000hz		
	右 4000hz		
	左 1000hz		
 心電図 【1年のみ】	左 4000hz		
治療の必要の有無			
すでに治療済み			

図 25 定期健康診断結果のお知らせ

③ 成長曲線作成ツール(Excel版)

2年前より本地区における内科健診において、児童生徒全員の成長曲線の提示が医師会から要望された。しかし、現在多くの学校で使用している保健室ソフトは、発育曲線のみで成長曲線を作成することができない。そこで、保健室ソフトに蓄積されている身長体重のデータを活用し、インターネットフリーソフトと合わせ、成長曲線が個別にグラフ化できるツールを作成した(図26)。

その値として身長と体重のデータを保健室ソフトから書き出し「成長曲線作成ツール」のSheetsに貼り付ける。

グラフの「名前▼」の部分で児童名が選択できるようになっており検索作業を簡素化した。医療機関へ受診勧告する際、資料として印刷が必要な児童は出席番号を打ち込み印刷ボタンを押すと身長体重のデータも表示されたグラフが個別に出せるようにした。

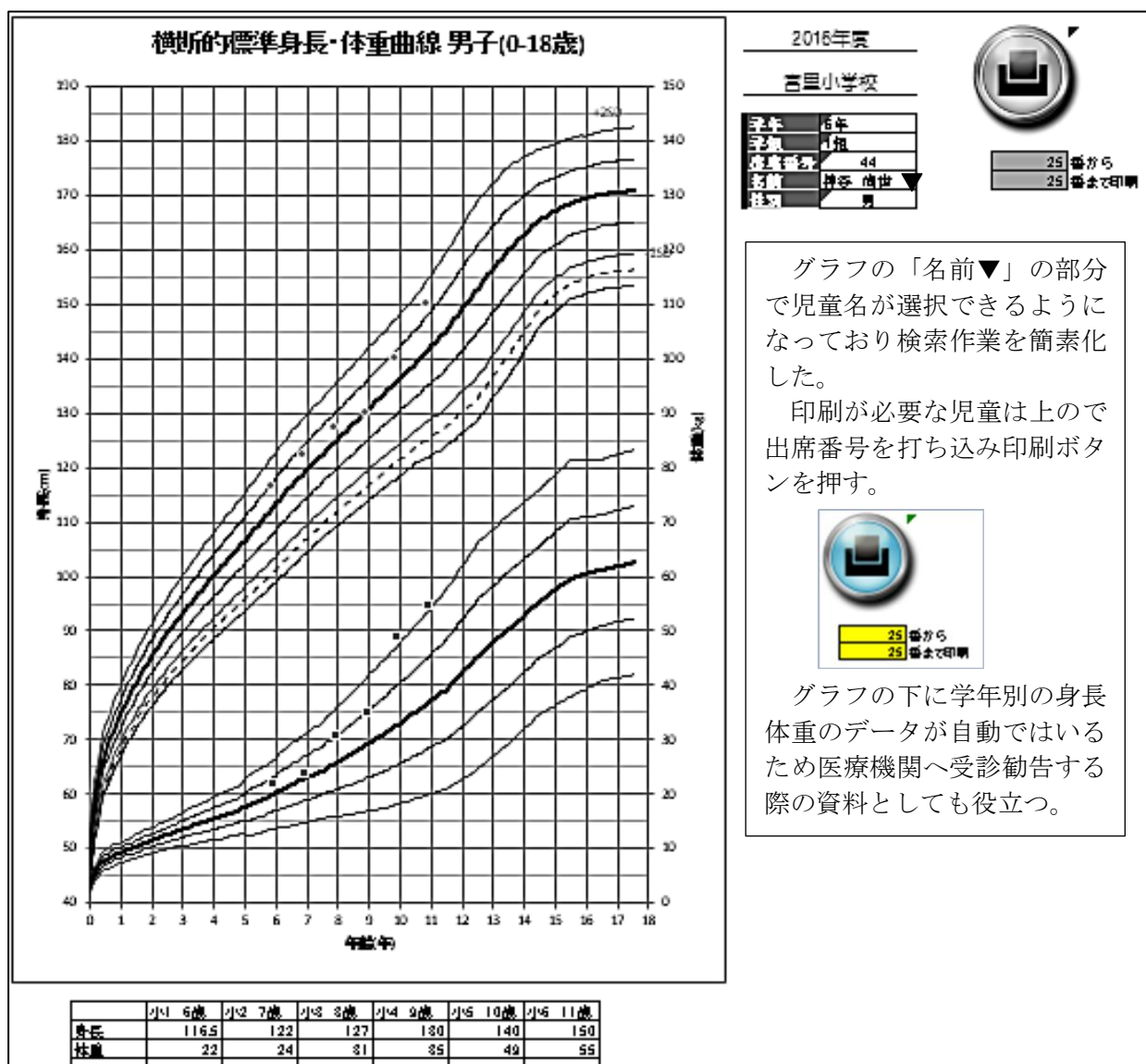


図 26 成長曲線グラフ

(2) 健康相談記録ツール(Access版)

本ツールは、Accessをベースにし作成した。

目的は、保健室に集まる多種多様な情報を整理するためである。主に、健康相談記録が中心となるが、養護教諭の立場として「気づき」を記録することができるようにした。

入力

メイン画面(図27)から「入力シート」を開くと「健康相談の記録」が表示される。(図28)「番号▼」を押すと所属一覧が表示され該当児童生徒を選択すること

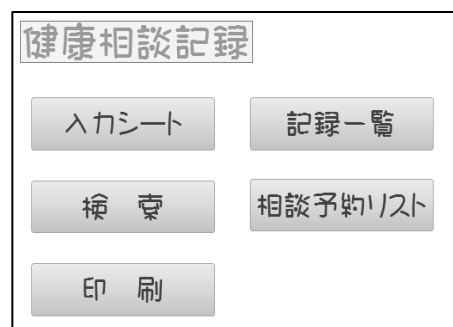


図 27 健康相談記録メイン画面

ができ、入力が簡素化される。その他の項目(日付・曜日・時間帯・対象者・課題)も選択ボタンでできるようにした。入力する事柄に関して何が問題となるかを明確にするために「課題」の欄を設置した。(図29)さらに複合化する問題が表現できるように3つ欄を用意した。相談内容・気づき内容や、その対策は記述式とした。継続的に支援が必要な場合、時期を逸しないよう次回予約チェックと予約予定日も選択ボタンで入力の簡素化を図った。

一覧表

メイン画面で「記録一覧」を開くと入力したすべての記録が表示される(図30)。

検索

メイン画面で「検索」を開くとこれまで入力したデータの所属(学年・学級・出席番号・氏名)が表示される(図31)。学年を抽出したい学年のボタンで絞り込み、個人で抽出したい児童生徒の番号を入力し抽出マークを押す。抽出された児童生徒の情報は一覧で表示される(図32)。

相談予約リスト

メイン画面で「相談予約リスト」を開くと予約チェックと日程を入力した児童の次回相談日程や会議予定リスト一覧を作成することができる。同画面の印刷ボタンで相談予約リストは印刷がされる(図33)。

相談予約リスト				
次回予定日	学年	学級	出席番号	氏名
2014/01/15(水)	1	1	12	
2014/01/16(木)	1	1	1	
2014/01/17(金)	6	2	29	担任・顧問との相談
2014/01/17(金)	1	1	10	
2014/01/23(木)	1	1	1	
2014/01/25(土)	1	1	17	
2014/01/30(木)	6	2	9	
2014/01/31(金)	6	2	2	

2014年1月13日

図 33 相談予約リスト

図 28 健康相談記録入力シート

記録一覧									
番号	学年	学級	出席番号	氏名	日付	時間帯	相談対象	課題	
1112	1	1	12		2014/01/01(水)	2校時	本人	その他	
1123	1	1	23		2014/01/02(木)	3校時	担任	あそび非行	

図 30 記録一覧シート

図 31 検索シート

個別健康相談情報					
番号	学年	学級	出席番号	氏名	
111	1	1	1		
日付	時間帯	相談対象	課題	課題2	課題3
2014/01/09(木)	2校時	ケース会議	その他	意図的拒否	いじめ
2014/01/22(水)	3校時	担任	その他	発達障害疑	いじめ

図 32 個別健康相談情報シート

(3) 健康な生活のためのアンケート

市内養護教諭に対する執務に関するアンケートにおいて、約9割が活用したいと考えている「健康に関するアンケート」の雛形を作成した。

しつもんは、各学校の現状に合わせた内容に変更可能とした。しつもん数を25問をとし、4択の4点満点とした(図34)。しつもん用紙をWordで作成し、また集計をExcelで作成した(図35)。

集計は個別の点数を入力していく。自動的に個票グラフ(図36)と学年別のグラフ(図37)が表示でき、健康課題の意識化につながるデータとなる。

健康生活アンケートを実施することで個々の健康課題解決への行動変容にはつながりにくいという問題点が挙がったが、今回保健指導資料集を低中高学年別に作成し担任が活用しやすいよう工夫した(図38)。

1・2年生用

〇〇健康アンケート

〇〇学校

提出期限…月日()

健康な生活の様子をアンケートでチェックしながら確認してみましょう。(○をつけよう)

ねん くみ ばん なまえ

しつもん	はい、 とても、 いつも、 4点	まあまあ、 ほとんど、 たいてい、 3点	あまり、 そうとも、 いえない、 2点	いいえ、 まったく、 そうでない、 1点	点数
せいかつしゅうかんについて					
1. まいにち9:00にはなてている。	.1	.1	.1	.1	.1
2. まいにち朝ごはんを食べている。	.1	.1	.1	.1	.1
3. 休み時間は外で体を動かしている。	.1	.1	.1	.1	.1
4. 正しい姿勢で学習できている。	.1	.1	.1	.1	.1
5. まいにちぐっすり眠れる。	.1	.1	.1	.1	.1
いそろのけんこうやふし					

6月			せいかつしゅうかんについて																			
学年	組	番号	氏名	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5				
1	1	1		4	3	2	3	4	3	3	4	2	1	4	4	3	4	3				
1	1	2																				

図 35 集計ツール Excel

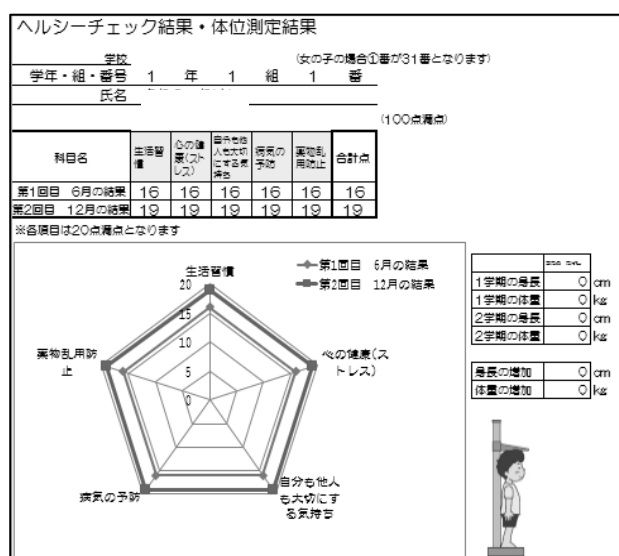


図 36 個票

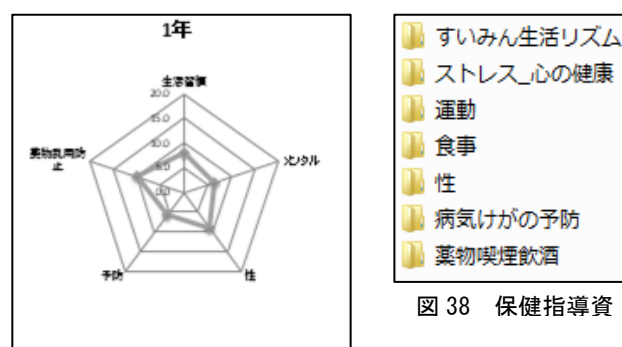


図 38 保健指導資

図 37 学年別グラフ

5 校務支援システムとの連携

今回、研修開始時において沖縄県立教育センター I T 班作成の校務支援システムとの連携を前提に保健室ツール作成を進めてきた。しかし、研修途中で、市の方向性として業者の支援システムの導入が示された。現時点において業者が未確定なため、ツール作成の方向性も変更を余儀なくされ、現在ある保健室ソフトの補助機能を重視したツール作成となった。今後、校務支援システムとのリンクがどのように進められていくか不明確であるためデータの蓄積・継続の問題も予測される。今後導入に向けて調整しながら進めていく段階である。

IV 研究の成果と課題

1 成果

- (1) 市内養護教諭情報管理における執務の調査において保健室情報管理の実態と課題が明確となり、課題に応じた支援ツールの作成ができた。
- (2) 定期健康診断結果の統計が簡素化できた。
- (3) 多種多様な健康相談や保健室情報を記録整理する簡素化した支援ツールの作成ができた。

2 課題

- (1) 保健室情報の整理に関するツールの作成に時間を要するため「共有化」の視点での研究が不十分であった。今後導入される校務支援システムとの連携では、以下の内容検討が課題として挙げられる。
 - ① 保健室ソフト項目と校務支援システム項目の共有化について(名簿、出席状況、児童生徒の日々の記録など)の検討。
 - ② 保健室ソフトとのリンクにおいてデータの蓄積と小中連携を考慮した継続的データの形式の在り方。
 - ③ セキュリティーへの対策。
 - ④ 県保健統計調査・健康診断票に適したシステム改良。
 - ⑤ 校内・保健室における情報機器環境整備
- (2) 保健室情報処理補助員の配置並びに養護教諭ソフト操作研修時間の確保。
- (3) 健康課題に対する家庭・地域への情報発信と情報交換する場の強化を図り、効果的な情報発信に努める。

〈主な参考文献〉

- ・三木とみ子 2013『改訂 保健室経営マニュアル—その基本と実際—』ぎょうせい
 - ・全国公立学校教頭会 2006『Q&A 学校運営における情報管理の実務』新日本法規出版株式会社
 - ・国本温子・緑川吉行&できるシリーズ編集部『できる逆引き Excel VBA を極める勝ちワザ 700』株式会社インプレスジャパン
 - ・稲垣歩美・大井しょうこ・わかる編集部『わかるハンディ仕事のはかどるマクロ&VBA Excel』株式会社学研パブリッシング
 - ・目黒正俊 2013『よくわかる Microsoft® Access®2010 ビジネス活用編』FOM 出版
- 〈参考URL〉
- ・成長曲線エクセル http://www.geocities.jp/incus_incus/med/growth/readme.htm